# 操作マニュアル

2023年9月29日

ブルーテック株式会社

# 目次

ROBOT IDとKnowledge SuiteのSSO連携の流れ	1
ROBOT ID の設定	2
カスタム属性を作成する	2
カスタム属性を設定する	3
SAML 設定を行う	4
証明書のダウンロードを行う	6
Knowledge Suiteの設定	8
SSO 設定を行う	8
JIT プロビジョニングの利用設定1	0
ROBOT ID: JIT プロビジョニングに対応するカスタム属性を登録する1	0
ROBOT ID: SAML 設定に登録したカスタム属性を設定する         1	1
Knowledge Suite : SSO 設定で JIT プロビジョニングを設定する1	2
スマートフォンアプリケーションを SSO 連携する1	5
ROBOT ID: セキュリティルールの設定を行う 1	5
ROBOT ID:アカウントの設定を行う1	7
Knowledge Suite アプリケーションから SSO を利用してログインする	!1
	ROBOT ID と Knowledge Suite の SSO 連携の流れ.       ROBOT ID の設定.         カスタム属性を作成する.       カスタム属性を設定する.         SAML 設定を行う.       証明書のダウンロードを行う.         証明書のダウンロードを行う.       Knowledge Suite の設定.         SSO 設定を行う.       JIT プロビジョニングの利用設定.         NBOT ID : JIT プロビジョニングに対応するカスタム属性を登録する.       1         ROBOT ID : SAML 設定に登録したカスタム属性を設定する.       1         Knowledge Suite : SSO 設定で JIT プロビジョニングを設定する.       1         ROBOT ID : セキュリティルールの設定を行う.       1         ROBOT ID : アカウントの設定を行う.       1         ROBOT ID : アカウントの設定を行う.       1         ROBOT ID : アカウントの設定を行う.       2

※ご利用ブラウザ、端末のバージョン等により表示画面が異なる場合がございます。 あらかじめご了承ください。

#### ■1 ROBOT IDと Knowledge SuiteのSSO 連携の流れ

ROBOT ID のシングルサインオン(以下、SSO)を利用して他システムと連携するためには、「カスタム属性」 「SAML 設定」「セキュリティルール」「アカウント」の設定が必要です。本書では「カスタム属性」の作成手 順と Knowledge Suite と連携する際の「SAML 設定」の設定値についてご案内いたします。 他の設定は操作マニュアル「ROBOT ID」をご参照ください。

本設定は ROBOT ID のアドミニストレーターアカウント、Knowledge Suite のアドミニストレーターアカウン トからのみ設定可能です。

- STEP1 ROBOT ID 側でカスタム属性を作成する
- STEP2 ROBOT ID 側で SAML の設定を行う

▼

- STEP3 ROBOT ID 側で証明書をダウンロードする
- STEP4 Knowledge Suite 側で SSO の設定を行う

Knowledge Suite をご利用いただくには、Knowledge Suite をご契約いただく必要がございます。

また、Knowledge Suite に別途ご利用ユーザーのアカウント登録が必要です。

ただし、Just In Time (以下、JIT) プロビジョニング\*1を使用する場合、Knowledge Suite でのアカウント の事前登録は不要です。JIT プロビジョニングの利用設定について詳細は第4章「プロビジョニングの利用 設定」をご参照ください。

\*1 JIT プロビジョニングを使用すると、ROBOT ID から Knowledge Suite に SSO ログインするタイミングで Knowledge Suite 側にアカウントを作成・更新することができます。

# ■2 ROBOT ID の設定

ROBOT ID にてカスタム属性の作成、Knowledge Suite 用の SAML 設定および証明書のダウンロードを行いま す。設定は ROBOT ID のアドミニストレーターアカウントからのみ実施可能です。 設定方法について詳細は操作マニュアル「ROBOT ID」も併せてご参照ください。

# 2-1 カスタム属性を作成する

SAML 設定の「名前識別子の値」(SAMLResponseのNameID)に設定するカスタム属性を作成します。

#### POINT

Knowledge Suite の場合、「名前識別子の値」(SAMLResponse の NameID) には Knowledge Suite のログイン ID (メールアドレス)を設定します。値の設定は各アカウントで行います。 Knowledge Suite のログイン ID 用項目が作成済みの場合は、新規作成する必要はございません。

POINT

JIT プロビジョニングを利用する場合、カスタム属性にて必要な項目を作成します。作成の際、「フィール ド名」は任意の名称で問題ございません。作成項目について詳細は第4章「JIT プロビジョニングの利用 設定」の「ROBOT ID: JIT プロビジョニングに対応するカスタム属性を登録する」をご参照ください。

ROB	OT 🛱 D							前園 清治 ▼
ホーム	マイアカウント	カスタム属性	SAML設定	セキュリティルール	アカウント	インポート/エクスポート	企業	

1. [カスタム属性] タブをクリックします。

カスタム属性一覧		● <u>新規作成</u>
フィールド名	種別	削除

2. 「新規作成」をクリックします。

カスタム属性編集	
フィールド名	•
種別	各アカウントで、この属性に対応する値を保持しますが、アドミニストレーターのみ変更可能です。 ▼
保存	戻る

3. 項目を設定し、[保存]をクリックします。

#### POINT

カスタム属性の各種別の設定値を変更可能な画面は以下のとおりです。

セキュリティ上、各項目の設定値はアドミニストレーターで管理することを推奨します。

・各アカウントで、この属性に対する値を保持します。:

アドミニストレーター用のアカウント編集画面、ユーザー用のマイアカウント編集画面 ・各アカウントで、この属性に対応する値を保持しますが、アドミニストレーターのみ変更可能です。:

アドミニストレーター用のアカウント編集画面

・この属性にはユニークな値が対応します。:

アドミニストレーター用のカスタム属性編集画面

## 2-2 カスタム属性を設定する

Knowledge Suite との連携用に作成したカスタム属性の値を設定します。

ここでは種別を「各アカウントで、この属性に対応する値を保持しますが、アドミニストレーターのみ変更可能です。」とした場合の手順をご案内します。他の種別を選択した場合は操作マニュアル「ROBOT ID」をご参照ください。

ROB	OT 🕈 D							前園 清治 ▼
ホーム	マイアカウント	カスタム属性	SAML設定	セキュリティルール	アカウント	インポート/エクスポート	企業	

#### 1. [アカウント] タブをクリックします。

アカウント一覧			● <u>新規作成</u> ⊠ <u>招待</u>			
						検索
ログインID	名前	メールアドレス	セキュリティルール	パスワード再発行	削除	アカウントロック
b0000@example.c om	前國 清治	b0000@example.com	役員用			
<u>b0001@example.c</u> om	高宮 ひろ	b0001@example.com	役員用	<u>再発行</u>	<u>削除</u>	オープン中
<u>b0006@example.c</u> om	宮崎 貴生	b0006@example.com	営業部	再発行	<u>削除</u>	オープン中

<sup>2.</sup> 設定するアカウントのログイン ID をクリックします。

アカウント詳細					☑ <u>編集</u>
ログインID	b0000@example.com				
名前	前園 清治				
名前(カナ)	マエゾノ キヨハル				
利用許可スマートフォン端末	設正				
カスタム属性					☑ <u>編集</u>
生年月日					
ログインメールアドレスKS					
Web Authentication					⊕ 登録     ☑ 編集
有効 名前 識別名	登録時のデバイス	最終使用日時	IPアドレス制限の対象	本人性確認を実施	削除
戻る	戻る				

3. 「編集」をクリックします。

アカウント編集	
ログインID	b0000@example.com *
名前	姓 前園 * 名 清治 * ミドルネーム
名前(カナ)	セイ マエゾノ メイ キヨハル ミドルネーム
メールアドレス	b0000@example.com
通知用メールアドレス	b0000@example.com
タイムゾーン	Asia/Tokyo , 日本標準時
権限	アドミニストレーター
セキュリティルール	役員用
会社電話番号	030000000
携帯電話番号	
内線	
事業部	
部門	
役職	
社員ID	
カスタム属性	
生年月日	19750101
ログインメールアドレスKS	k.maezono@example.jp
保存	R R R R R R R R R R R R R R R R R R R

4. 項目を設定し、[保存]をクリックします。

# 2-3 SAML 設定を行う

# POINT

JIT プロビジョニングを利用する場合、カスタム属性にて作成した項目を属性マッピングに登録します。 詳細は第4章「JIT プロビジョニングの利用設定」の「ROBOT ID: SAML 設定に登録したカスタム属性を設 定する」をご参照ください。

ROB	DT 🛱 D							前園 清治 ▼
ホーム	マイアカウント	カスタム属性	SAML設定	セキュリティルール	アカウント	インポート/エクスポート	企業	

1. [SAML 設定] タブをクリックします。

SAML設定一覧					● 新規作成
有効	名前	ACS URL	SSO利用時のURL	証明書の有効期限	削除

2. 「新規作成」をクリックします。

SAML設定編集		
名前	Knowledge Suite	
現在の画像イメージ		
画像アップロード	ファイルを選択 KnowledgeSuite.png	
接続識別子	* * *	
有効	● ON ○ OFF	
IdP initiated SSO	○ ON ● OFF	
開始URL		
エンティティID	https://* * * * * .saml.gridy.jp	•
ACS URL	https:// * * * * .saml.gridy.jp/login	•
SAMLレスポンスに証明書を含 める	○ ON ● OFF	
署名対象のノード	Assertion	
署名方式	RSA_SHA512	
ダイジェスト方式	SHA512	
名前識別子の書式	EmailAddress	
名前識別子の値	*ログインID ▼	
現在のSAMLログイン時表示画 像イメージ		
SAMLログイン時表示画像アッ プロード	ファイルを選択 KnowledgeSuiteJPG	,
属性マッピング		● <u>設定欄追</u> 加
属性名	属性值	削除
	戻る	

3. 以下の情報を設定し、[保存]をクリックします。

以下の項目はKnowledge Suite との連携において必須となる項目です。

名前:連携するシステムの名称など、任意の名前を入力します。

- 接続識別子:半角英数字で最大30文字の任意の文字列を入力します。ここで設定した文字列が「SSO利 用時のURL」に設定されます。
- 有効:ラジオボタン「ON」を選択します。

IdP initiated SSO: ラジオボタン「OFF」を選択します。

エンティティ ID: 「https://[サブドメイン]<sup>\*1</sup>. saml. gridy. jp」を入力します。

- ACS URL: 「https://[サブドメイン]<sup>\*1</sup>. saml. gridy. jp/login」を入力します。
- 署名対象のノード:「Assertion」を選択します。
- 署名方式:「RSA\_SHA512」を選択します。
- ダイジェスト方式:「SHA512」を選択します。
- 名前識別子の署名:「EmailAddress」を選択します。

名前識別子の値: Knowledge Suite のログイン ID を設定するカスタム属性の項目を選択します。

カスタム属性について詳細は本章「ROBOT ID の設定」の「カスタム属性を作成する」 をご参照ください。

\*1 サブドメイン:「エンティティ ID」と「ACS URL」の[サブドメイン]は共通の文字列とし、任意の文 字列を入力します。設定値は第3章「Knowledge Suiteの設定」の「SSO 設定を行う」 で利用します。

# POINT

「Knowledge Suite (gridy.net)」をご利用のお客様は以下をご確認ください。 エンティティ ID:「https://[サブドメイン]<sup>\*1</sup>.saml.gridy.net」を入力します。 ACS URL:「https://[サブドメイン]<sup>\*1</sup>.saml.gridy.net/login」を入力します。

## POINT

属性マッピングを登録する場合は「設定欄追加」をクリックし、登録する全ての項目を追加した後[保存] をクリックします。

属性マッピング			● 設定欄追加
属性名		属性值	削除
	*	*ログインID <b>*</b>	<u>削除</u>
保存	戻る		

# 2-4 証明書のダウンロードを行う

	圜 清治 ▼
ホーム マイアカウント カスタム属性 SAML設定 セキュリティルール アカウント インポート/エクスポート 企業	

1. [SAML 設定] タブをクリックします。

SAML設定	定一覧			0	新規作成
有効	名前	ACS URL	SSO利用時のURL	証明書の有効期限	削除
ON	<u>Knowledge Suite</u>	https:// * * * * * .saml.gridy.jp/lo gin	https://robotid.jp/idaas/f/saml2/ * * * * / * * *	2025/07/28	<u>削除</u>

2. 前項「SAML 設定を行う」で作成した SAML 設定の名前をクリックします。

名前	Knowledge Suite	
現在の画像イメージ	K S	
接続識別子	* * *	
有効		
一般の古り		
名前識別子の値	*ログインID	
現在のSAMLログイン時表示画 像イメージ	Knowledge Suite	
証明書のダウンロード	Base 64 encoded X.509 (.cer) 形式 メタデータ形式	
証明書の有効期限	2025/07/28 再発行	
属性マッピング		ビ編集
	属性名	属性値

3. 「証明書のダウンロード」欄にある「Base 64 encoded X.509(.cer)形式」をクリックしてダウンロード します。

ダウンロードした証明書ファイルは第3章「Knowledge Suiteの設定」の「SSO 設定を行う」で利用します。

POINT

証明書の有効期限が過ぎている場合は「再発行」をクリックしてから証明書をダウンロードしてください。 ※「Knowledge Suite」は証明書の有効期限が過ぎていても正常にご利用いただけます。

```
    証明書のダウンロード
    Base 64 encoded X.509 (.cer) 形式
    メタデータ形式

    証明書の有効期限
    2025/07/28 再発行
```

POINT

「SSO 利用時の URL」に記載されている URL は、第3章「Knowledge Suite の設定」の「SSO 設定を行う」 で利用します。

SAML設	定一覧			o	新規作成
有効	名前	ACS URL	SSO利用時のURL	証明書の有効期限	削除
ON	Knowledge Suite	https:// * * * * * .saml.gridy.jp/lo gin	https://robotid.jp/idaas/f/saml2/ * * * * / * * *	2025/07/28	<u>削除</u>

# ■3 Knowledge Suiteの設定

Knowledge Suite にて、ROBOT ID と連携するための SSO 設定を行います。設定は Knowledge Suite のアドミ ニストレーターアカウントからのみ実施可能です。

# 3-1 SSO 設定を行う

Knowledge Suite の SSO 設定にて ROBOT ID の設定を行います。 SSO 設定について詳細は Knowledge Suite の操作マニュアルをご参照ください。

GRIDY	Knowledge Suite, inc. 取締役会	2. 設定 2. アヘルフ ログアウト
GRIDI	「「「」」「「」」「「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」	

1. [設定]をクリックします。

Knowledge Suite設定
o アプリケーション
<ul> <li>▶ アップロードファイルサイズ制限</li> <li>▶ 容量通知設定</li> <li>▶ メニュー追加設定</li> <li>▲ 表示/非表示設定</li> </ul>
○ 利用状況
■ アクションログ取得設定 ■ ご利用状況確認
●セキュリティ設定
<ul> <li>► IPアドレス制限</li> <li>► SSO設定</li> <li>► KS利用者設定</li> <li>► google連携API設定</li> <li>⊾ パスワードポリシー</li> </ul>

2. 「Knowledge Suite 設定」の「SSO 設定」をクリックします。

🗼 設定 ?	
SSO設定	
★は必須項目です。	
SSO利用設定 * 無効時は通常のURL(https://gridy.jp )を、 有効時は下記「SSO利用時のURL」でご指定いただいたURLをご利用ください。	● 有効 ○ 無効
SSO利用時の通常ログイン許可設定 * SSO利用時に通常のURLからログイン可能なユーザを指定してください。	● アドミニストレーターのみ可能 ○ 全員可能
JIT連携の利用設定 <b>*</b> 有効にすると、SAMLの Just-in-timeブロビジョニングを、 ご利用いただけます。	○ 有効 ● 無効
SSO利用時のURL * ご利用になるサブドメインを指定してください。 ※ 他企業で使用されているサブドメイン名はご利用いただけません。	https:// 🗶 🗶 🗶 🗶 .saml.gridy.jp
<b>識別子のフォーマット *</b> ユーザー識別に用いるバラメーターの形式を指定して下さい。	urn:oasis:names:tc:SAML:1.1:nameid-format:emailAddress
IDプロバイダーログインURL * ご利用になるIDプロバイダーのログイン用URLを指定してください。	https://robotid.jp/idaas/f/saml2/米米米/米米米 接続確認
IDプロバイダーログアウトURL ご利用になるIDプロバイダーのログアウト用URLを指定してください。	接続時確認
<b>Dプロバイダー証明書 *</b> ご利用になるIDプロバイダーの証明書を指定してください。 * 証明書アイルは以下の形式で作成してください。 証明書形式: X500 作成アルゴリズム: RSA エンコーディング: PEM 改行コード: CRLF または LF	ファイルを選択 knowledgesuite.cer
設定保存	

3. 以下の情報を設定し、[設定保存]をクリックします。

以下の項目は ROBOT ID との連携において必須となる項目です。

SSO 利用設定:「有効」を選択します。

SSO 利用時の通常ログイン許可設定:任意で選択します。

JIT 連携の利用設定:任意で選択します。JIT 連携を利用する場合は第4章「JIT プロビジョニングの 利用設定」の内容を設定後の変更を推奨します。

SSO 利用時の URL: ROBOT ID の「SAML 設定」にて設定したサブドメインの値を入力します。詳細は第2 章「ROBOT ID の設定」の「SAML 設定を行う」をご参照ください。

識別子のフォーマット:「urn:oasis:names:tc:SAML:1.1:nameid-format:emailAddress」を選択します。 ID プロバイダーログイン URL: ROBOT ID に表示されている「SSO 利用時の URL」を入力します。詳細は 第2章「ROBOT ID の設定」の「SAML 設定を行う」をご参照ください。

ID プロバイダー証明書: ROBOT ID でダウンロードした証明書ファイルを選択します。詳細は第2章 「ROBOT ID の設定」の「証明書のダウンロードを行う」をご参照ください。

### POINT

SSO 設定画面の「SSO 結果」にて SSO ログインの結果を確認できます。

SSO結果

		SAML認証		ίTIL	車携
日時	結果	識別子	SAMLレスボンス	結果	連携データ
2020-04-01 15:31:47	失敗 ログインに失敗しました。IDかバス ワードが間違っている可能性があ ります。	t.miyazaki@example.com	<pre><?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?><samlp.response xml<br="">mssamlp="urn:oasisnamestc:SAML2.0protocol Destination "https://*****sesinaridy.p/login TDF_3ebe52807104 bc038961691cd8287" InResponse Tor "XHrUJWMg0gTYCOBJ WXWGrUJUPRWybW Tissuentant="2000-04-011063145.8312" Version="20" Yoamlissuer xminssaml="urn:oasisnamestc:SAM L20 assertion "https://tookidjp/idaas/fisaml2" **** ********************************</samlp.response></pre>	無効	

# ■4 JIT プロビジョニングの利用設定

ROBOT ID と Knowledge Suite の JIT プロビジョニングの利用設定を行います。

JIT プロビジョニングを利用することで、ROBOT ID から Knowledge Suite ヘログインする際に、Knowledge Suite にユーザーの作成または更新を行うことが可能です。

本章では、STEP1のROBOT IDとKnowledge SuiteのSSO連携設定が完了している前提でご案内いたします。

#### STEP1 第1~3章の設定を行う

▼

STEP2 必要に応じ、ROBOT ID 側に Knowledge Suite の項目を追加する

▼ ※カスタム属性と SAML 設定の設定を行います。
 ※STEP2の作業をしなくても JIT プロビジョニングは可能です。
 STEP3 Knowledge Suite 側で SSO の設定を変更する

※JIT 連携利用設定を有効に変更します。

# 4-1 ROBOT ID: JIT プロビジョニングに対応するカスタム属性を登録する

Knowledge Suite との JIT プロビジョニングに対応したカスタム属性を ROBOT ID に登録します。ここでは設 定可能な項目をご案内します。

カスタム属性の作成方法について詳細は第2章「ROBOT ID の設定」の「カスタム属性を作成する」をご参照 ください。

#### ■設定可能な項目

設定可能な項目はKnowledge Suiteのメンバーインポート機能にて設定可能な項目の一部です。各項目の詳 細はKnowledge Suiteの操作マニュアルをご参照ください。

以下の項目は任意であり、カスタム属性で項目を未作成の状態であっても JIT プロビジョニングを利用できます。

Knowledge Suiteの メンバーインポート項目名	説明
名前・姓	Knowledge Suite 上のアカウント名(姓)です。最大 30 文
	子まで設定でさます。
夕前,夕	Knowledge Suite 上のアカウント名(名)です。最大 30 文
	字まで設定できます。
> 11 + S+> ++	Knowledge Suite 上のアカウント名ふりがな(姓)です。
ふりかな・妊	最大 30 文字まで設定できます。
	Knowledge Suite 上のアカウント名ふりがな(名)です。
ふりかな・名	最大 30 文字まで設定できます。
사무 10	Knowledge Suiteのプロフィールに表示される項目です。
	半角英数字で最大 100 文字まで設定できます。
	Knowledge Suiteのプロフィールに表示される項目です。
电砧钳方(云仁)	電話番号形式で設定します。

電話番号(内線)	Knowledge Suiteのプロフィールに表示される項目です。
電話番号(携帯電話)	半角英数字で最大 32 文字まで設定できます。
部署名(表示用)	Knowledge Suiteのプロフィールに表示される項目です。
役職(表示用)	最大 100 文字まで設定できます。

POINT

カスタム属性の各種別の設定値を変更可能な画面は以下のとおりです。

セキュリティ上、各項目の設定値はアドミニストレーターで管理することを推奨します。

- ・各アカウントで、この属性に対する値を保持します。:
  - アドミニストレーター用のアカウント編集画面、ユーザー用のマイアカウント編集画面
- ・各アカウントで、この属性に対応する値を保持しますが、アドミニストレーターのみ変更可能です。: アドミニストレーター用のアカウント編集画面
- この属性にはユニークな値が対応します。:
   アドミニストレーター用のカスタム属性編集画面

#### 4-2 ROBOT ID: SAML 設定に登録したカスタム属性を設定する

登録したカスタム属性を Knowledge Suite 連携用の SAML 設定に追加します。ここでは設定可能な項目の属 性名をご案内します。

SAML 設定の登録方法について詳細は第2章「ROBOT ID の設定」の「SAML 設定を行う」をご参照ください。

#### ■設定可能な項目の属性名

設定可能な項目はKnowledge Suiteのメンバーインポート機能にて設定可能な項目の一部です。各項目の詳 細はKnowledge Suiteの操作マニュアルをご参照ください。

以下の項目は任意であり、SAML 設定で項目を未設定の状態であっても JIT プロビジョニングを利用できま す。SAML 設定に設定しない場合のアカウント情報は、Knowledge Suite のメンバー招待時と同じ設定で登録 されます。

Knowledge Suiteの	ROBOT ID の
メンバーインポート項目名	属性マッピングに登録する属性名
名前・姓	last_name
名前・名	first_name
ふりがな・姓	last_kana
ふりがな・名	first_kana
社員 ID	employee_id
電話番号(会社)	phone_number
電話番号(内線)	extension
電話番号(携帯電話)	cell_phone_number
部署名(表示用)	department
役職(表示用)	position

POINT

SAML 設定の属性マッピングに登録した項目は、SAML レスポンス中の saml:AttributeStatement 要素に含まれて Knowledge Suite へ渡されます。

POINT

カスタム属性の「種別」で「この属性にはユニークな値が対応します。」以外を設定して作成し、SAML 設 定で以下の項目を設定した場合はアカウントのカスタム属性で値を設定する必要があります。

名前・姓 名前・名 ふりがな・姓

ふりがな・名

# 4-3 Knowledge Suite: SSO 設定で JIT プロビジョニングを設定する

SSO 設定を行った Knowledge Suite で JIT プロビジョニングの利用設定を行います。 Knowledge Suite の SSO 設定について詳細は第3章「Knowledge Suite の設定」の「SSO 設定を行う」および Knowledge Suite の操作マニュアルをご参照ください。

?ヘルプ ログアウト

**急**設定



1. [設定]をクリックします。

nowledge Suite設定	
アプリケーション	
- アップロードファイルサイズ制限 - 容量通知設定 - メニュー追加設定 - 表示/非表示設定	
利用状況	
- アクションログ取得設定 - ご利用状況確認	
セキュリティ設定	
- IPアドレス制限 - SSO設定 - KS利用者設定 - google連携API設定	

2. 「Knowledge Suite 設定」の「SSO 設定」をクリックします。

🗼 設定 ?	
SSO設定	
₩は必須項目です。	
SSO利用設定 * 無効時は通常のURL(https://grldy.jp.)を、 有効時は下記「SSO利用時のURL」でご指定いただいたURLをご利用ください。	● 有効 ○ 無効
SSO利用時の通常ログイン許可設定 * SSO利用時に通常のURLからログイン可能なユーザを指定してください。	● アドミニストレーターのみ可能 ○ 全員可能
JIT連携の利用設定 <b>*</b> 有効にすると、SAMLの Just-in-timeブロビジョニングを、 ご利用いただけます。	● 有効 ○ 無効
SSO利用時のURL * ご利用になるサブドメインを指定してください。 ※ 他企業で使用されているサブドメイン名はご利用いただけません。	https://
<b>識別子のフォーマット *</b> ユーザー識別に用いるバラメーターの形式を指定して下さい。	urn:oasis:names:tc:SAML:1.1:nameid-format:emailAddress
IDプロバイダーログインURL * ご利用になるIDプロバイダーのログイン用URLを指定してください。	https://robotid.jp/idaas/f/saml2/# # # /# # # 接続確認
ID <b>プロバイダーログアウトURL</b> ご利用になるIDプロバイダーのログアウト用URLを指定してください。	接続確能認
IDプロバイダー証明書 * ご利用になるIDプロバイダーの証明書を指定してください。 * 証明書アイルは以下の形式で作成してください。 証明書形式:X500 作成アルゴリズム:REA エンコーディング:PEM 改行コード:CRLF または LF	ファイルを選択       選択さ…いません         証明書は既に設定済みです。          設定済みの証明書を削除する
設定保存	

3. 「JIT 連携の利用設定」を「有効」にし、[設定保存]をクリックします。

# POINT

SSO 設定画面にて JIT プロビジョニングにより実行されたアカウントの作成・更新処理の結果を確認できます。

SSO結果

		SAML認	27. 20	JIT連	携
日時	結果	識別子	SAMLレスポンス	結果	連携データ
2020-04-01 15:58:20	失敗 内部エラーが発生しまし た	c.yamashita≅example.co m	xml version="1.0" encoding="UTF-8"? <samlp:response xml<br="">ns:samlp= um:oasisnamestc:SAML2.0protocol Destination ="https://*****s.aml.jrdy.jp/login_10=_2ada350ddc34 d9986f5dd170493b96" InResponse1o="owl'geDCHFIJkmvUZFL XSmgzPOTHWo" Issuelhant="2020-04-07108.08220142" V ersion="2.0"&gt;<samlsasuer xmlns:saml="um:oasisnamestc:SAM&lt;br&gt;L2.0assertion">https://obdidj./idaas/t/saml2/***/<!--<br-->samlIssuer&gt;<samlp status=""><saml="statuscode value="um:oasis&lt;br&gt;snamestc:SAML2.0statusSuccess">&gt;<samls statuscode="" value="um:oasis&lt;br&gt;snamestc:SAML2.0statusSuccess">&gt;<samls statuscode="" value="um:oasis&lt;br&gt;snamestc:SAML2.0statusSuccess">&gt;<samls samls<="" statusscaml2<="" td=""></samls></samls></samls></saml="statuscode></samlp></samlsasuer></samlp:response>	失敗 社員IDは半角英数字のみで 入力してください	employee_id : No. 004 8
2020-04-01 15:32:11	成功	k.maezono@example.com	<pre><?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?><samlp.response xml<br="">ns:samlp="um:oasisnamestc:SAML2.0protocol" Destination ="https://*****seinalidy.jp/ogin"]DE_"1982246/3704 Zae9dbee8e924cd1528" InResponseTo="jr0LrYWWZNKSOorOM CVNLsMzopAMDL" Issuelinati="2020-04-011063210.5462" Version="2.0"&gt;Saml/suer xmins:saml="um:oasisnamestc:SA ML:2.0:assertion"&gt;https://toobdig.jr0ass/?aml2/****/ Samljs:StatusCode Value="um:oasisnamestc:SAML2.0:assertion"&gt;kmin:0:k</samlp.response></pre>	成功	
2020-03-31 16:06:21	成功	k.maezono@example.com	xml version="1.0" encoding="UTF-8"? <samlp.response xml<br="">ns:samlp="um:oasisnamestc:SAML2.0protocol" Destination ="https://*****.sml.aridy.jp/login" ID="1e367315588 83840/2e1f5d96521f" InResponseTo="IvrLDWLrLTtiDmqWLk LDDQGd0hW" Issuehtstart="2020-03-31170.062.01927" Version="2.0" Cassertion" https://robotidj.jcidaas/f*aml2****/<sam Idssuer&gt;<amlpstatus>camlpStatus&gt;camlpStatus<amlassml amlpathus<="" amlpstatus<="" status<="" td=""><td>成功</td><td>last_name:前園 first_name:清治 last_kana:まえぞの first_name:きよはる</td></amlassml></amlpstatus></sam </samlp.response>	成功	last_name:前園 first_name:清治 last_kana:まえぞの first_name:きよはる

POINT

JIT プロビジョニングを利用して新規作成されたアカウントで Knowledge Suite に初めてログインする場合、名前とパスワードの入力が求められます。2回目以降のログインではこの操作はありません。

		a patriki N da
KT *		3UX+KIN
名 *	雷太	30文字以内
姓(かな)*	かみき	50文字以内
名(かな)*	らいた	50文字以内
パスワード*		半角英数字と記号、6以上32 文字以内
パスワード*		・ 一 戸 英 数字と記号、6以上32 文字以内 半 角 英 数字と記号、6以上32
ハスリート確認*		文字以内
まわ`) セル		776

姓名、ふりがなを連携している場合は、連携した値が設定された状態で画面が表示されます。 ここで設定したパスワードは、ROBOT ID から Knowledge Suite に SSO ログインする場合には使用しません。

# ■5 スマートフォンアプリケーションを SSO 連携する

ROBOT IDと Knowledge Suite のスマートフォンアプリ(以下、アプリ)を連携し、ROBOT ID の SSO 連携で Knowledge Suite の GRIDY SmartPhone にログインできます。

ROBOT ID のアプリについて詳細は操作マニュアル「ROBOT ID Android 用スマートフォンアプリ」および 「ROBOT ID iPhone 用スマートフォンアプリ」も併せてご参照ください。

ここでは第2章「ROBOT IDの設定」および第3章「Knowledge Suiteの設定」で記載した内容を前提とし、 アプリと連携する場合に必要なSTEP5以降の手順をご案内します。詳細は各章の内容をご参照ください。

STEP1| ROBOT ID 側でカスタム属性を作成する

STEP2 ROBOT ID 側で SAML の設定を行う

- STEP3 ROBOT ID 側で証明書をダウンロードする
- STEP4 Knowledge Suite 側で SSO の設定を行う

STEP5 ROBOT ID 側でセキュリティルールの設定を行う

STEP6 ROBOT ID 側でアカウントにセキュリティルールの適応と端末識別 ID の設定を行う ※端末識別 ID を登録するにはスマートフォン端末にアプリをダウンロードしている必要があります。

アプリをご利用いただく際はブラウザから Knowledge Suite の初回ログイン(アカウント登録)が完了している必要があります。

#### POINT

▼

▼

▼

アプリ「ROBOT ID」が利用可能な端末は Android OS が 6.0 以上もしくは iOS が 12.0 以上のスマートフォン端末のみです。タブレット端末には対応しておりません。

# 5-1 ROBOT ID: セキュリティルールの設定を行う アプリ「ROBOT ID」を利用可能とするユーザーに適応するセキュリティルールを設定します。 詳細は操作マニュアル「ROBOT ID」をご参照ください。 ※以降のスマートフォン画面は Android 端末(アプリ)の画面となります。iPhone 端末の場合は一部画面が 異なる場合がございます。

ROB	OT 🕈 D							前園 清治 ▼
ホーム	マイアカウント	カスタム属性	SAML設定	セキュリティルール	アカウント	インポート/エクスポート	企業	

1. [セキュリティルール] タブをクリックします。

セキュリティルール一覧			<u>作成</u>
名前	コメント	コピー	削 除

2. 「新規作成」をクリックします。

POINT

作成済みのセキュリティルールを編集する場合はセキュリティルールの名前をクリックし、セキュリティ ルール詳細画面の「編集」をクリックします。

セキュリティルール詳細		☑ <u>編集</u>
名前	営業部用	
コメント	Knowledge Suite、GEOCRM	
使用可能なSAML設定	KnowledgeSuite GEOCRM	
多要素認証の種類	認証アプリケーション	
IPアドレス制限	000.000.000 (現在ご利用中のグローバルIPアドレス:000.000.000)	
スマートフォンの利用	許可する	
パスワードポリシー		
アカウントロック	ロックの起因となる連続ログイン失敗回数: 5回 ロック解除までの時間: 1時間	
最小文字数	8	
必須の文字タイプ	半角アルファベット小文字 半角数字	
有効期間	常に有効	
過去パスワードの利用	再利用可能	
戻る		

セキュリティルール編集	
名前	営業部用 *
コメント	Knowledge Suite、GEOCRM
使用可能なSAML設定	<ul> <li>✓ GEOCRM</li> <li>✓ KnowledgeSuite</li> </ul>
多要素認証の種類	認証アプリケーション ▼
IPアドレス制限	アクセスを許可するIPアドレス(IPv4) 現在ご利用中のグローバルIPアドレス:000.000.000 ※IPアドレス範囲(IPv4,CIDR表記)を改行で区切って入力してください。 000.000.000
スマートフォンの利用	● 許可する ● 制限する
パスワードポリシー	
アカウントロック	ロックの起因となる連続ログイン失敗回数:5回     ▼       ロック解除までの時間:1時間     ▼
最小文字数	8 🔻
必須の文字タイプ	<ul> <li>□ 半角アルファベット大文字</li> <li>◎ 半角アルファベット小文字</li> <li>◎ 半角数字</li> <li>□ 半角記号</li> </ul>
有効期間	常に有効
過去パスワードの利用	再利用可能 ▼
保存	戻る

項目を設定し、[保存]をクリックします。
 以下の項目は ROBOT ID のアプリを利用許可するにあたって必須となる項目です。
 ・セキュリティルール編集

名前:セキュリティルールの名前を入力します。最大30文字まで設定できます。

多要素認証の種類:アプリ「ROBOT ID」では「Web Authentication」に登録した認証器での認証を行う ことができません。「Web Authentication」を設定する場合は「IP アドレス制限」 に IP アドレスを入力して「パスワードによるログイン認証も併用する」にチェッ クを入れ、パスワードでログインしてください。

POINT

ここで設定した「多要素認証の種類」「IP アドレス制限」「スマートフォンの利用」およびアカウントで設定する「利用許可スマートフォン端末」の設定値の組み合わせにより、ログイン可能な条件が異なります。 詳細は操作マニュアル「ROBOT ID」の巻末資料をご参照ください。

# 5-2 ROBOT ID: アカウントの設定を行う

ROBOT ID アプリを利用可能とするユーザーに対して、セキュリティルールの適応と端末識別 ID を設定します。

※以降のスマートフォン画面は Android 端末(アプリ)の画面となります。iPhone 端末の場合は一部画面が 異なる場合がございます。

#### ■セキュリティルールを設定する

ROBOT ID アプリを利用可能とするユーザーに対して、本章「スマートフォンアプリケーションを SSO 連携す る」の「ROBOT ID:セキュリティルールの設定を行う」にて作成したセキュリティルールを適応します。 ここでは作成済みのユーザーアカウントに対して編集する場合としてご案内します。ユーザーアカウントが 未作成の場合は操作マニュアル「ROBOT ID」をご参照の上、アカウントを作成してください。

ROB	OT 🕈 D							前園 清治 ▼
ホーム	マイアカウント	カスタム属性	SAML設定	セキュリティルール	アカウント	インポート/エクスポート	企業	

# 1. [アカウント] タブをクリックします。

アカウント一覧			● <u>新規作成</u> ⊠ <u>招待</u>			
						検索
ログインID	名前	メールアドレス	セキュリティルール	パスワード再発行	削除	アカウントロック
<u>b0000@example.c</u> om	前國 清治	b0000@example.com	役員用			
<u>b0001@example.c</u> om	高宮 ひろ	b0001@example.com	役員用	<u>再発行</u>	<u>削除</u>	オープン中
<u>b0006@example.c</u> om	宮崎 貴生	b0006@example.com	営業部	再発行	<u>削除</u>	オープン中

# 2. 編集するアカウントのログイン ID をクリックします。

アカウント詳細					☑ <u>編集</u>
ログインID	b0000@example.com				
名前	前園 清治				
名前(カナ)	マエゾノ キヨハル				
利用許可スマートフォン端:	末 設定				
カスタム属性					☑ <u>編集</u>
生年月日	19750101				
ログインメールアドレス	k.maezono@example.jp				
Web Authentication					❶ <u>登録</u> ☑ <u>編集</u>
有効名前識	別名 登録時のデバイス	最終使用日時	IPアドレス制限の対象	本人性確認を実施	削除
ON 認証器1	Windows NT 10.0; Win64; x64	2021/03/16 11:58:10			<u>削除</u>

3. 「編集」をクリックします。

アカウント編集	
ログインID	b0000@example.com
名前	姓 前園     * 名 清治     * ミドルネーム
名前 (カナ)	セイ マエゾノ メイ キヨハル ミドルネーム
メールアドレス	b0000@example.com
通知用メールアドレス	b0000@example.com
タイムゾーン	Asia/Tokyo , 日本標準時
権限	アドミニストレーター
セキュリティルール	役員用     ▼
会社電話番号	
携帯電話番号	
内線	
事業部	
部門	
役職	
社員ID	
カスタム属性	
生年月日	19750101
ログインメールアドレス	k.maezono@example.jp
////	<b>F</b> 7
保仔	

4. 内容を変更し、[保存]をクリックします。

以下の項目はアプリ「ROBOT ID」を利用許可するにあたって必須となる項目です。

・アカウント編集

ログイン ID: ROBOT ID にログインするためのログイン ID となる任意の文字列を入力します。ログ イン ID は全環境において一意である必要がございます。

姓・名・ミドルネーム:氏名を入力します。

メールアドレス:メールアドレスを入力します。

通知用メールアドレス: ROBOT ID からの通知メールを受信するメールアドレスを入力します。メー ルアドレスと同じアドレスでも登録可能です。

権限:アカウントの権限を「ユーザー」もしくは「アドミニストレーター」のどちらかに設定します。 セキュリティルール:本章「アプリケーション同士を SSO 連携する」の「ROBOT ID:セキュリティル ールの設定を行う」にて作成したセキュリティルールを選択します。

#### ■利用許可するスマートフォンの端末情報を登録する

ROBOT ID をアプリから利用可能とするユーザーに対して、利用を許可するスマートフォンの端末情報を登録 します。

ここでは ROBOT ID にアカウントが作成済みとしてご案内します。アカウントが未作成の場合は操作マニュアル「ROBOT ID」をご参照の上、アカウントを作成してください。

POINT

[セキュリティルール]で「スマートフォンの利用」を「制限する」としていても、その他の設定により アプリを利用することができる場合もあります。詳細は操作マニュアル「ROBOT ID」をご参照ください。



スマートフォン端末にインストールしたアプリ「ROBOT ID」にて、「端末識別 ID」を確認します。アプリのインストール方法および確認方法について詳細は操作マニュアル「ROBOT ID Android 用スマートフォンアプリ」および「ROBOT ID iPhone 用スマートフォンアプリ」をご参照ください。

ROB	DT 🛱 D							前園 清治 ▼
ホーム	マイアカウント	カスタム属性	SAML設定	セキュリティルール	アカウント	インポート/エクスポート	企業	

2. ブラウザ版「ROBOT ID」にアドミニストレーターアカウントでログインし、[アカウント] タブをクリックします。

アカウント一覧						● <u>新規作成</u> ⊠ <u>招待</u>
						検索
ログインID	名前	メールアドレス	セキュリティルール	パスワード再発行	削除	アカウントロック
<u>b0000@example.c</u> om	前國 清治	b0000@example.com	役員用			
<u>b0001@example.c</u> om	高宮 ひろ	b0001@example.com	役員用	<u>再発行</u>	<u>削除</u>	オープン中
<u>b0006@example.c</u> om	宮崎 貴生	b0006@example.com	営業部	<u>再発行</u>	<u>削除</u>	オープン中

<sup>3</sup> 登録するアカウントのログイン ID をクリックします。



4. 「利用許可スマートフォン端末」の「設定」をクリックします。

ホー		δ, 1 ⊟10			×
	端末識別ID	有効期限(開始日)	有効期限(終了日)	IPアドレス制限の対象	- 1
ľ			追加		
1					- 1

5. [追加]をクリックします。

赤	i a tri mili ann Shria		1. do . 1 / / / 10 / / - //	
	端末識別ID	有効期限(開始日)	有効期限(終了日)	IPアドレス制限の対象
編集 削除	*			
_		追加		
携带電話雷亏				

6. 「編集」をクリックします。

	t t <u>a la res</u> tila a con consta			× ***
	端末識別ID	有効期限(開始日)	有効期限(終了日)	IPアドレス制限の対象
保存取消	*			
携带電話電写				

内容を入力し、「保存」をクリックします。
 「端末識別 ID」は必須項目です。手順1 で確認した文字列を入力してください。

# 5-3 Knowledge Suite アプリケーションから SSO を利用してログインする

SSO 設定を行った Knowledge Suite のアプリから ROBOT ID のアプリを利用してログインします。 ※以降のスマートフォン画面は Android 端末(アプリ)の画面となります。iPhone 端末の場合は一部画面が

異なる場合がございます。

POINT

アドミニストレーターが設定したセキュリティルールの「多要素認証の種類」により、ROBOT ID でのログ イン手順が異なります。

本手順では「多要素認証の種類」を「無効」としている場合の手順を記載しております。「多要素認証の種類」ごとのログイン手順について詳細は操作マニュアル「ROBOT ID」をご参照ください。

1. アプリ「ナレッジスイート」をタップして Knowledge Suite のアプリを起動します。

Knowledge Suite		
ログインID		
そのままログインボタンを押下してください		
パスワード		
パスワード		
ログイン		
Knowledge Suiteとは?		
設定 <u>障害・メンテナンス情報</u> <u>ヘルプ</u> プライバシーポリシー		

2. 何も入力せずに [ログイン] をタップします。

POINT

SSOの接続設定を行っていない場合、Knowledge Suite アプリの設定が必要です。

# Android 用アプリ

ログイン画面の「設定」から「■モード設定」を「SSO」に変更し、「SSO サブドメイン」を入力して[設 定] ボタンをタップします。Knowledge Suite アプリから ROBOT ID にアクセスする際に ROBOT ID アプ リを使用する場合は、「■モード設定」の「ROBOT ID アプリを使用」にチェックを入れ、[設定] ボタン をタップします。

	設定	_
戻る	設定	
■モード	設定	
🦲 通常	b 2	
sso sso	,	
ssoサフ	ブドメイン	
SSOサ	ブドメインを入力してくだる	さしい
R	OBOT IDアプリを使用	
<i>ੇ ੱ</i> ਦ	·用	

## iPhone 用アプリ

端末の「設定」アプリから「KS」をタップし、「KS 設定」の「SSO サブドメイン」を入力します。Knowledge Suite アプリから ROBOT ID にアクセスする際に ROBOT ID アプリを使用する場合は、「KS 設定」の「ROBOT ID アプリ使用」のスイッチを ON(緑)にします。

>
0

#### POINT

SSO 設定が行われている状態で Knowledge Suite アプリをアップデートをすると、以下の画面が表示される場合があります。

「OK」をタップすると、今後 Knowledge Suite から SSO ログインする際は端末にインストールされた ROBOT ID のアプリを起動して認証を行います。「キャンセル」をタップすると、今後 Knowledge Suite から SSO ログインする際は ROBOT ID アプリを利用せずに認証を行います。

ROBOT IDアプリを使用してログイン しますか?		
ОК	キャンセル	

POINT

Knowledge Suite アプリから初めて ROBOT ID にアクセスする際に、ROBOT ID のアプリが端末にインスト ールされていない場合は以下の画面が表示される場合があります。

「OK」をタップすると ROBOT ID のアプリインストール画面が表示され、「キャンセル」をタップすると今後 Knowledge Suite から SSO ログインする際は ROBOT ID アプリを利用せずに認証を行います。





3. ROBOT ID のログイン ID を入力し、[次へ] をタップします。



4. ROBOT ID のパスワードを入力し、[ログイン] をタップします。

Knowledge Su	ite	0
GRIDY	<b>、ス</b> グループウェ	:ア >
GRIDY	′. <b>⊐</b> SFA	>
スケジュー	μ	
€ 2020/	02/06(木)	
08:00-09:00	ToDo 打ち合わせ	
12:30-13:30	打合せ 最終打ち合わせ 会議室A	
16:00-17:00	ToDo 打ち合わせ	
17:00-18:00	ToDo プレゼンテーション	
お知らせ		
≽ 🗡	ッセージ <mark>(2)</mark>	0
<b>「</b> 参 レ:	ポート <mark>(1)</mark>	0

5. Knowledge Suite へのログインが完了し、ログイン後の画面が表示されます。

# POINT

アプリ「ROBOT ID」にすでにログイン済みの場合、手順3および4の操作は不要です。

Copyright  ${\ensuremath{\circ}}$  BlueTec Inc. All Rights Reserved.